

総合的な学習の時間 福祉体験「手話講座」

湯河原町立東台福浦小学校

単元（題材）目標

- 様々な人との関わりを通して、相手の立場に立って行動しようとする心を育む。
- 聴覚障がいの方の話聞き、自分たちにできることを考える。

(1) 実施時期 6月25日（土） 第3，4校時

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年24名，小学校教員1名，保護者3名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：手話サークル「心」6名

(4) 実施内容

- ①聴覚障がいについて体験談を聞く。
 - ・聴覚障がいの方がこれまで体験してきたことや困ったことについて話を聞く。
- ②手話体験
 - ・よく使う物や動作の表わし方
 - ・あいさつの仕方
 - ・五十音の表わし方
 - ・自分の名前の表わし方
 - ・歌「さんぽ」



(5) 成果

今回、初めて聴覚障がいのある方と関わるということで、まずは、“障がい”というとらえについて、その方が生きてこられた中で経験されてきたことや思い等、手話通訳を交え、4年生段階の児童にわかりやすい言葉で説明していただいた。

そのあと、1時間程度、いくつかの実践的活動に取り組んだ。クイズ形式で考えさせてくれたり、児童2，3人に1人の割合で外部講師のサポートがあったりしたので、児童は楽しく自信を持って活動することができた。手話に関する基本的な知識を学ぶとともに、手話や指文字の表し方を実践することで、「自分にもできそうだ。」と実感することができた。そして、「もし、耳の不自由な人や話せない人がいたら、助けてあげたいな。」という感想をもつことができた。

(6) その他

保護者や地域の方々が参観したり、参加したりできるように、学校公開日に設定した。